

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	環境科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	教授	江頭 直義		
専門分野	電気化学	分析化学	環境科学	

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	化学	環境分析概論	化学実験(月曜日)	卒業論文
	卒業論文			
(大学院)	環境分析科学	生物環境分析学実験		
(2)教育関係特記事項				

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	Electrogenerated chemiluminescence from Ru(II) complex derivatives absorbed on Au electrodes, N. Egashira, S. Morita, H. Tashiro, Y. Mitoma, T. Uda, <i>ITE Letters</i> , 7 , 276-280 (2006).		平成18年6月
	ルテニウム錯体内封じリポソームを用いるタンパク質の高感度定量、平田、三苫、宇田、江頭、 <i>Chemical Sensors</i> , 22 , Supplement B, 58-60 (2006).		平成18年8月
	Calcium-promoted catalytic degradation of PCDDs, PCDFs, and coplanar PCBs under mild wet process, Y. Mitoma, N. Tasaka, M. Takase, T. Masuda, H. Tashiro, N. Egashira, <i>Environ. Sci. Technol.</i> , 40 , 1849 (2006)		平成18年
	Rapid and convenient approach to amines: reduction of imines using metallic calcium in ethylalcohol, Y. Mitoma, N. Egashira, C. Simion, M. Tashiro, <i>Rev. Roum. Chim.</i> , 51 , 839(2006)		平成18年
	Novel mild hydrodechlorination of PCDDs, PCDFs, and co-PCBs inside fly ash using a calcium-promoted rhodium carbon catalyst in methanol, Y. Mitoma, N. Tasaka, M. Takase, T. Masuda, H. Tashiro, N. Egashira, <i>Environ. Chem.</i> , 3 , 215 (2006).		平成18年10月
(2)著書	化学が見えてくる、岩本悦郎、江頭直義、柿並孝明、日色和夫、三苫好治、三共出版、ISBN4-7828-0513-1		平成17年4月
(3)学会発表等	電解発光内封イムノリポソームによるインフルエンザウイルスの迅速高感度検出、江頭直義、森田真一、三苫好治、宇田泰三、日本化学会第88春季年会		平成20年3月
	インフルエンザウイルスヘマグルチニンの新規電解発光分析、江頭直義、森田慎一、三苫好治、一二三恵美、宇田泰三、日本化学会西日本大会		平成19年11月
	Attomol detection of hemagglutinin peptide of influenza virus on the basis of electrogenerated chemiluminescence and immunoliposome, N. Egashira, Y. Mitoma, E. Hifumi, T. Uda, 12th Asian Chemical Congress		平成19年8月
(4)工業所有権等	ダイオキシン類の測定方法及び装置(特願2003-162545, 特許第4087295号) 試料中のダイオキシン類の濃度を測定する方法及びその装置(特願2001-337337, 特許第3933912号)		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	2件	
	科学研究費補助金(分担)	1件	
	その他外部資金	7件	
(6)研究関係特記事項	(1)庄原市大学研究助成事業を進展させ、油分吸着の試作装置を作成した。その成果を新聞報道(平成18年11月29日、中国新聞、朝刊)した。 (2)インフルエンザウイルス検出の研究成果を新聞(平成20年2月7日、中国新聞、朝刊)発表した。 (3)重点研究の成果を進展させて公的競争的外部資金(平成19年-20年、科学技術振興機構イノベーション化事業顕在化ステージ)を獲得した。		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	八次中学校学校評議員	H19.4~H20.3
	広島県公害審査会	H19.4~H20.3
	日本化学会中国四国支部代議員	H19.4~H20.3
(2)公開講座等	JICA地域別研修	「産官学連携の事例紹介」6月20日
	イノベーション・ジャパン	「タンパク質のゼプトモル迅速検出法の開発、国際フォーラム(有楽町)」9月12日~14日
(3)地域貢献特記事項	広島分析機関(広環協)	ゼプトモル分析への挑戦、ワークピア広島、6月22日

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等		
(2)大学運営特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。